



第3回富山県地球温暖化防止活動推進員研修会

令和4年度 JCCA セミナーへの参加を令和4年度第3回富山県地球温暖化防止活動推進員研修会とする

1 概要

地域の中小企業の脱炭素経営において、省エネ対策を実施する他、再生可能エネルギー電気を導入する取組みも進んでいます。中小企業や自治体において、電力を100%再生可能エネルギーに転換することを支援する動きや、自治体や事業者による具体的な脱炭素に向けた取組みや事例について紹介します。

2 開催日時

令和4年9月7日（水） 13:30～15:30

3 プログラム(予定)

(1)「再エネ 100 宣言 Re Action の活動紹介」

再エネ 100 宣言 Re Action 金子 貴代 氏

(2)「地域での脱炭素活動・経営の事例紹介」

鳥取県 生活環境部脱炭素社会推進課 千葉 朝美 氏

川崎信用金庫 総合企画部 副部長 山本 裕之 氏

4 開催方法

YouTube ライブ 配信 または、後日 YouTube 視聴

【講師プロフィール】

金子 貴代 氏 再エネ 100 宣言 Re Action



2010 年より、企業や行政の先進事例を調査しながら、グリーン購入（環境配慮した製品やサービスの購入）を普及するために活動する。

グリーン購入ネットワークでは食品や日用品の原料となるパーム油の持続可能性や、環境に配慮した電力の選び方についても注力した。

2019 年には中小企業も参加可能な再エネ 100%を目指す枠組み、再エネ 100 宣言 RE Action を立ち上げ、普及・広報業務を担当。積極的に再エネ調達を実践している 20 以上の参加企業・団体へインタビューを行っている。2021 年度から第 9 期さいたま市環境審議会委員、2018 年東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の持続可能な調達ワーキンググループ特別委員（パーム油）などを務める。

千葉 朝美 氏 鳥取県生活 環境部 脱炭素社会推進課



民間企業（商社営業職）勤務を経て、2017 年 4 月鳥取県へ入庁。

販路拡大・輸出促進課、国際観光誘客課と自治体内でも営業職のような部署を経験し 2022 年 5 月脱炭素 社会推進課に異動。企業の脱炭素経営の推進を担当し、企業向けの省エネ・再エネ設備導入の補助金や、普及啓発のセミナー、意見交換を実施しています。

鳥取県は 2019 年に再エネ 100 宣言 RE Action アンバサダーに就任、2050 年のカーボンニュートラル、

2030 年の CO2 排出量△60%（2013 年比）を目標に設定しており、小さい県の小回りの良さを活かし事業者 と連携して脱炭素を進めています。

山本 裕之 氏 川崎信用金庫 総合企画部 副部長 中小企業診断士

1974 年 神奈川県平塚市生まれ 東京、神奈川、大阪、北海道に転居

1992 年 北海道立札幌南高校卒業

1996 年 青山学院大学法学部卒業

1996 年 川崎信用金庫入庫 3 支店で主に渉外業務に従事

2009 年 人事教育部配属 人事、厚生、研修、採用、人事制度改正などの業務に従事

2019 年 総合企画部配属 経営企画、広報、決算などの業務に従事 SDGs、脱炭素に関して、自治体と連携しつつ社内外への普及啓発に努めている